

令和 2 年度 教科研究会 部会役員名簿

情報 部会

氏名	職名	勤務先
菊地 勇人	校長	県立横浜立野高等学校 電話 045 (621) 0261
役職	氏名	勤務先
副部長	小島 淳子	県立光陵高等学校 電話 045 (712) 5577
副部長	柴田 功	県立川崎北高等学校 電話 044 (855) 2631
副部長	内藤 哲也	県立山北高等学校 電話 0465 (75) 0828
副部長	森 秀明	県立平塚農業高等学校 電話 0463 (31) 0944
幹事長 (理事)	山田 恭弘	県立住吉高等学校 電話 044 (433) 8555
副幹事長	大里 有哉	県立相模原総合高等学校 電話 042 (761) 5055
役員	相馬 臣彦	県立大和南高等学校 電話 046 (269) 5050
役員	天明 大輔	川崎市立幸高等学校 電話 044 (522) 0125
役員	登本 洋子	桐蔭学園中学校・高等学校 電話 045 (971) 1411

役 員	矢部 一弘	横浜共立学園中学校高等学校 電話 045(641)3785
会 計	石井 徳人	横須賀市立横須賀総合高等学校 電話 046 (833)4111
会 計	鎌田 高德	県立茅ヶ崎西浜高等学校 電話 0467 (85) 0008
事務局長	池田 大輔	県立二宮高等学校 電話 0463 (71) 3215
会計監査	五十嵐 誠	県立神奈川総合高等学校 電話 045 (491) 2000
会計監査	五味 大金	県立川崎高等学校 電話 044 (344) 5821

情報部会

1 研究大会事業

実施年月日	場 所	内 容	参加者数	発表者数	講師氏名(職)
1. 6. 27	神奈川総合高校	研究大会	49 名	4 名	鹿野 利春 (文部科学省)
1. 8. 10・11	和歌山大学	研究大会(全国大会)	200 名 (他都県含 む)	52 名 (他都県含む)	鈴木 寛 (東京大学)

2 研究調査

実施年月日	場 所	内 容	参加者数	発表者数	講師氏名(職)
1. 8. 7	川崎市立幸高校	第 1 回研修会	12 名	1 名	天明大輔教諭
1. 12. 27	情報科学専門学校	実践事例報告会	153 名	28 名	県内外多数

3 研究用図書購入

図書の種類	平均単価	冊 数	利用状況

4 研究成果刊行事業

刊行物名称	規格・頁	売・非売	発行部数	頒布先
神奈川県高等学校教科研究会 情報部会 ホームページ 「www.情報部会.net」	Web ページ (http://www.johobukai.net/)	非 売	1	インターネット

令和元年度 事業実施に伴う収支決算書

1. 収入の部

項目	決算額	備考
部会事業費	¥252,500	
合計	¥252,500	

2. 支出の部

研究 大会	謝金	¥0	中央講師 謝金不可
	旅費	¥29,592	中央講師 旅費
	借料・損料	¥0	
	資料費	¥0	
	通信運搬費	¥0	
	会議費	¥2,760	会議費
	消耗品費	¥64,000	ネームプレート ハンディプロジェクタ 用紙
	小計	¥96,352	
研究 調査	謝金	¥0	
	旅費	¥9,636	役員会 会場代
	資料費	¥18,176	用紙代
	通信運搬費	¥6,804	FAX 送信費
	会議費	¥0	
	消耗品費	¥93,390	実践事例報告会 イーゼルレンタル代
	小計	¥128,006	
購 入 書	資料費	¥0	
	会議費	¥0	
	消耗品費	¥0	
	小計	¥0	
研究 成果 刊 行	資料費	¥0	
	通信運搬費	¥11,854	インターネットサーバー関係費
	会議費	¥0	
	消耗品費	¥16,288	備品 (記録媒体)
	小計	¥28,142	
教科研究会へ返金		¥0	
合計		¥252,500	

情報部会

1 研究大会事業

実施年月日	場 所	内 容	参加者数	発表者数	講師氏名(職)
2. 6. 25	神奈川総合高校	研究大会	未定	未定	鹿野 利春 (文部科学省)
2. 8. 20・21	愛知県立大学	研究大会(全国大会)	200名 (他都県含む)	約50名 (他都県含む)	未定

2 研究調査

実施年月日	場 所	内 容	参加者数	発表者数	講師氏名(職)
2. 6	未定	テスト作問方針検討	未定		
2. 7	未定	新学習指導要領に関する研修	未定		
2. 7	未定	企業との連携した研修	未定		
2. 10	未定	新学習指導要領に関する研修	未定		
2. 10	未定	上級学校との連携	未定		
2. 11	未定	テスト問題検討	未定		
2. 11	未定	新学習指導要領に関する研修	未定		
2. 12. 28	情報科学専門学校	研究成果・実践事例報告	150名程度	程度 30名	鹿野 利春 (文部科学省)
2. 3	未定	テスト最終確認	未定		

3 研究用図書購入

図書の種類	平均単価	冊 数	利用状況

4 研究成果刊行事業

刊行物名称	規格・頁	売・非売	発行部数	頒布先
神奈川県高等学校教科研究会 情報部会 ホームページ 「www.情報部会.net」	Web ページ (http://www.johobukai.net/)	非 売	1	インターネット

令和2年度 事業計画に伴う収支予算書

1. 収入の部

令和2年 4月 1日 作成

項 目	予 算 額	積 算 内 訳
部会事業費	¥ 258,000	

2. 支出の部

事業	項 目	予 算 額	積 算 内 訳	
1 研 究 大 会	1 謝 金	¥ 20,000	中央講師 10,000 円× 時間× 人× 日× 回=	
			地方講師 20,000 円× 時間× 1人× 1回= 20,000 円	
			会場整理 10,000 円× 人× 日× 回=	
	2 旅 費	¥ 30,000		
		3 借料・損料	¥ 0	
		4 資料費	¥ 0	
		5 通信運搬費	¥ 0	
	6 会議費	¥ 3,000		
	7 消耗品費	¥ 50,000	実践事例報告会イーゼル代	
	小 計	¥ 103,000		
2 研 究 調 査	1 謝 金	¥ 0		
	2 旅 費	¥ 10,000		
	3 借料・損料	¥ 20,000		
	4 資料費	¥ 8,000	研究会資料作成費等	
	5 賃 金	¥ 0		
	6 会議費	¥ 0		
	7 消耗品費	¥ 100,000	研究会資料用消耗品費	
	小 計	¥ 138,000		
3 研 書 購 入	1 資料費	¥ 5,000	参考図書購入	
	2 会議費	¥ 0		
	3 消耗品費	¥ 0		
	小 計	¥ 5,000		
4 研 刊 成 果 行	1 資料費	¥ 0		
	2 通信運搬費	¥ 12,000	部会ホームページ管理運営費、部会メーリングリスト運営通信費	
	3 会議費	¥ 0		
	4 消耗品費	¥ 0		
	小 計	¥ 12,000		
合 計		¥ 258,000		

3. 県賛助金

	予 算 額	支出事業名・項目名 / (該当項目の予算額)
県賛助金	¥ 0	

令和2年度情報部会基本方針

神奈川県高等学校教科研究会『情報部会』は発足してから18年を経た。今まで、授業実践のための研究会の開催等、様々な活動を行い、授業の改善に一定の寄与をしてきた。しかし、まだまだ不十分であるとともに、情報モラルからルールへ、情報は利用するだけでなく活用するものと変化し、担う役割はますます大きくなっていくといえる。われわれ情報部会は以下の3点を基本方針として、部会員のバックアップと同時に情報部会のよりいっそうの充実に努力する。

(1) 情報教育をサポートするための活動をする

教科「情報」の指導要領改訂により、普通教科情報ABC3科目から共通教科「社会と情報」「情報の科学」の2科目へ変化し、専門教科に於いても多くの科目が改変再構成されてから8年目となる。さらに新学習指導要領では「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」に構成される流れとなった。この変化に対応するために、新入生対象の導入テストを作成し、調査研究活動を行い、情報や研修の機会を提供してこれまで以上に要望に応えられるよう努力する。

(2) 会員相互の連絡を活発化させる

情報部会会員は教科の性質上お互いの情報交換を特に大切にする必要がある。研究会の予告や実施報告は元より、アイデアの提示・実践例・講演会のお知らせなど、知るべき内容は多岐に渡り、これまでも、メーリングリストやWebサイトを活用してきた。今後も、双方向の関係をより充実するために努力する。

(3) 他の研究会等との交流を深める

昨年度は第12回目の全国大会が和歌山で開催され、全国規模の交流を深めることができた。また、今年度の第13回目の全国大会が愛知で開催される予定である。今後も情報教育の活性化を図る上で他県との交流をさらに深めていきたい。また、教員以外の研究団体も含めて他の情報研究会の団体とも交流を図って情報を交換する必要がある。以上のような交流の実現に向け努力する。

現在は積極的な参加者により組織が成り立ち機能している。今後多様化するニーズに応えるためには委員会の活動内容が増えてくる。情報部会としてはそれらに応えなければならない。神奈川県でも情報科教員の採用が本格化し、今年度も公立・私立で2桁の若い力が仲間入りをした。それらの若手教員の力になると共に、次世代の情報科を担う人たちの交流研鑽の場として数多くの有能な人材が参加し活動できるよう努力したい。

神奈川県高等学校教科研究会情報部会規約

第1章 総 則

第1条 (名称及び事務局)

本会は神奈川県高等学校教科研究会情報部会と称し、会長の在籍する当該校に事務局を置く。

第2条 (目的)

本会は高等学校教育の情報教育に関する研究を通して情報教育の発展に寄与し、あわせて会員相互の啓発をはかることを目的とする。

第3条 (活動方針及び性格)

本会の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 情報教育に関する研究
- (2) 情報技術に関する研究
- (3) 各種の広報活動
- (4) 研究大会、研究会、講演会、見学会および発表会等の開催
- (5) その他、本会の目的達成に必要な事項

第4条 (会員)

本会は神奈川県の高等学校教科研究会に属する学校の教職員からなる。

第2章 事務局

第5条 (事務局)

事務局の任務は、以下の通りとする。

- (1) 事務局は、文書の発行など、事務的な作業を行う。
- (2) 事務局は、広報活動を行いWeb サイト、メーリングリスト等を管理する。
- (3) 事務局長は、原則として会長の在籍する当該校から部会長が指名する。
- (4) 事務局員は、会員校から2名程度部会長が指名する。

第3章 役 員

第6条 (役員)

本会に以下の役員をおく。

- (1) 部会長 1名
- (2) 副部会長 1名程度
- (3) 幹事長 1名
- (4) 副幹事長 2名程度
- (5) 事務局長 1名
- (6) 会計 2名
- (7) 役員 若干名
- (8) 参与 若干名
- (9) 顧問 若干名

第7条 (役員の仕事)

部会長は本会を代表し、副部会長は部会長を補佐する。幹事長・副幹事長は会務を執行し、幹事長は神奈川県高等学校教科研究会本部理事を兼務する。

第8条 (役員の名)

役員は、輪番にて別に定めた地区の情報科の免許状を所有する常勤職員のいる代表校4校から1名ずつ部会長が指名する。又会員校から希望者を募り、部会長が指名する。

第9条 (役員の任期)

地区代表校より指名された役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

第4章 会 計

第10条 (収入)

本会の収入は教科研究会の配分金およびその他の収入をもってこれに充てる。

第11条 (経費)

本会の経費は、次にあげる項目を持ってこれに充てる。

- (1) 研究大会にかかる事業
- (2) 研究調査にかかる事業
- (3) 研究図書購入にかかる事業
- (4) 研究成果刊行にかかる事業
- (5) 広報活動にかかる事業

第12条 (会計年度)

本会の会計年度は4月1日に始まり翌年の3月31日までとする。

第5章 会 計 監 査

第13条 (会計監査)

本会に会計監査を1名おく。会計監査は本会の会計を監査し、その結果を教科研究会に報告する。

第14条 (会計監査の選出)

会計監査は、原則として前会計がこの職務を行う。

第6章 規 約 の 改 正

第15条 (規約の改正)

この規約の改正は幹事長が発議し、部会長が決定する。

附 則

規約の制定

この規約は平成13年4月1日より施行する

この規約は平成14年4月1日より改正施行する

この規約は平成19年4月1日より改正施行する

この規約は平成20年4月1日より改正施行する

この規約は平成23年4月1日より改正施行する

この規約は平成25年5月24日より改正施行する

この規約は平成29年5月22日より改正施行する

